



参加費
無料

(定員100名)

レンコンを 霞ヶ浦のシンボルに！

環境負荷の少ないレンコン栽培について考える！

□基調講演



圃場整備前のハス田群からの栄養塩類流出負荷量と
水管理による負荷削減効果について

茨城大学農学部教授 黒田 久雄 氏

□県の取り組み



1 レンコン主要品種の吸肥特性に基づく施肥法および
石灰窒素の肥料的効果

茨城県農業総合センター園芸研究所
土壌肥料研究 主任 假屋 哲朗

2 レンコン栽培における環境負荷削減について

茨城県霞ヶ浦環境科学センター
湖沼環境研究室 主任研究員 吉田 繁樹

日時

平成28年10月15日(土) 13:30～15:30

場所

霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール
土浦市沖宿町1853番地

FAX : 029-828-0968

レンコンを霞ヶ浦のシンボルに！

平成28年10月15日(土)開催

氏名	機関名 または 住所	連絡先電話番号

※ご記入いただいた個人情報は本公開セミナーの運営のみに使用し、それ以外の用途には使用しません。
※記録写真等を当センターの広報等で使用する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

開催趣旨

霞ヶ浦の周辺は、広大なレンコン田が広がり、全国一の産地であるとともに特徴的で美しい景観を形成しています。

一方でレンコン栽培には、多量の肥料が施用されることから、余分な肥料成分が湖内へ流入することによる水質への影響が懸念されています。

農業総合センター園芸研究所や霞ヶ浦環境科学センターでは、緩効性の肥料による施肥技術や無施肥栽培などの環境にやさしい栽培方法について調査・研究を実施してきました。その結果、緩効性肥料や無施肥栽培の利用などにより、環境負荷を減らす栽培ができることが分かりました。

このようなこれまでの調査研究や茨城大学における取り組みを広く紹介し、霞ヶ浦景観を形成するシンボル作物として普及するため、環境負荷の少ないレンコンの重要性をより多くの皆様に知っていただくことを目的として、公開セミナーを開催します。